

絵本×垂水市立図書館

いんたびゅー③

平成3年11月に開館し、同図書館は一昨年30周年を迎えました。現在、約8万2千冊の図書が揃えられ、そのうち約3万5千冊が児童図書です。そんな、子どもたちが多く利用する図書館スタッフに絵本についてお話を伺いました。

Q 絵本の特徴は？

絵がメインで文章が少ない本なので、たしかに子ども向けではあるのですが、だからこそ時間がかからずにたくさんのお話を読むことができるのは絵本の良いところだと思えます。描かれている素敵な絵や世界観だったり、物語にすぐに入り込むことができるのがとても魅力です。

Q 絵本を借りる年齢層は？

やはり一番多いのは、親子で一緒に選んで借りていかれる方々ですね。そのうち子どもが大きくなっ

て、本を一人で借りにくるようになってきたりして、なんだか感慨深かったりします。

Q 絵本の新作はどのように選んでいますか？

新刊のカタログから、最近注目されている作家さん、例えばヨシタケシンスケさん（作品／りんごかもしれない）だったり、あきやまだしさん（作品／まめうしシリーズ）とか、話題の絵本を選んでいきます。また、0歳から3歳児向けの絵本、季節や行事が描かれた絵本もピックアップしています。リクエストも受け付けていま

すので、お気軽に図書館スタッフにお声がけください。

Q 図書館スタッフの好きな絵本1冊教えてください。

『ふたり』という言葉遊び絵本です。よく読み聞かせで使っています。「これはなあに？」と子どもたちと当てっこなどをして盛り上がる参加型の絵本です。



『ふたり』
作／瀬川康男
ネコとネズミの「ふたり」の関係ユーモラスに描いた傑作。精密に描きこまれた石版画とリズムカルな言葉、親子で一緒に楽しめる絵本です。

Q 利用者へ一言

たくさんのお話や実用的な図書等、2階には勉強スペースもあつたりと本の世界に浸れるかと思えますので、気軽に図書館へ来館していただければ嬉しいです。お待ちしております！

INTERVIEW

◎垂水市立図書館スタッフ



図書館スタッフ厳選

各世代ごとのオススメ絵本

こちらでは、垂水市立図書館スタッフが選んだオススメ絵本を各世代ごとに紹介します。最近絵本を見てないあなたも、是非読んでみませんか？

小学生



『みえるとかみえないとか』
作／ヨシタケシンスケ

宇宙飛行士のぼくが降り立ったのは、目が3つあるひとの星。普通にしているだけなのに、「後ろが見えないなんてかわいそう」なんて言われて変な感じ…。

違いについて考えたり、普通ってなんだろう？を教えてくださいの絵本です。



未就学児



『大ピンチずかん』
作／鈴木のりたけ

ガムを飲んだ！トイレの紙がない！子どもが出会う世の中の「大ピンチ」を、大ピンチレベルの大きさと、なりやすさで分類。その対処法をユーモアたっぷりに紹介します。

今話題の絵本の一つ。おもしろい系の絵本が好きな子にオススメです！



乳幼児



『コロちゃんパーティに行く』
作／エリック・ヒル

しかけ絵本のコロちゃんシリーズ。仮装パーティの招待状がきて、コロちゃんはさっそくしたくをします。パーティ会場にはもう友達が集まり始めていて…。

しかけのページがおもしろい！字を覚えてたお子さんにオススメです。



番外編：子どもに大人気！大型絵本

ぜったいにおしちゃダメ？



ビル・コッター

『ぜったいにおしちゃダメ？』
作／ビル・コッター

ルールは1つだけ。それはこの赤いボタンをおしちゃダメということ。できるかな？でも…おしちゃったら？とにかく笑える愉快な大型絵本。

ご利用希望の方は図書館スタッフまで！



大人



『みょうがやど』
作／川端誠

「みょうがを食べ過ぎると、物忘れをする」といういわれを信じた宿屋の夫婦が悪戯くみ。みょうが料理をだして、客に忘れ物をさせ、奪うという計画を立てて…。

軽快な口調が面白い、子どもから大人まで楽しめる落語絵本です。

中高生



『奇跡の一本松』
作／なかだえり

津波に襲われた岩手県陸前高田市の高田松原で7万本もの松が流され、たった1本残った松。人々を励ましている「奇跡の1本松」が松原の歴史、津波、復興を語る絵本です。

災害を乗り越えようとする姿を優しいタッチの絵で綴った作品です。